2018 年度メディアセンター事業計画

1. 組織目的

立教大学の教育研究情報基盤を構築運用する。

2. 事業方針

ICT¹基盤の整備と運用、及び、学習・教育・研究活動における ICT 利活用支援を通して、本学の教育効果と研究成果の向上に努める。

3. 事業計画

(1). パソコンの整備と運用

以下のシステムの運用・利用支援を行う。

- ① パソコン 4800 台 (コンピュータ教室、教卓 PC、貸出 PC、ラーニングスペース PC 等)
- ② ノートPCの貸出(5か所)
- ③ コンピュータ教室
- ④ メーザーラーニングコモンズ
- (2). ネットワークの整備と運用

以下のシステムの運用・利用支援を行う。

- ① インターネット WAN 接続
- ② 有線・無線 LAN
- ③ キャンパス内の公衆無線 LAN
- (3). 一般教室マルチメディア機器の整備と運用

以下のシステムの運用・利用支援を行う。

- ① 一般教室(池袋 221、新座 89 教室)マルチメディア機器
- ② 遠隔授業 (池袋-新座間) 対応設備
- ③ 8号館 PC 教室入口ディスプレイ
- ④ 会議室のマルチメディア機器
- ⑤ 授業、イベント収録配信支援
- ⑥ 教員向け貸出機材(授業用ノートPC約100台、ビデオカメラ等)
- ⑦ ビデオカメラについては授業として学生が撮影、編集、発表をするための補助。 また記録保存、フィードバック用として録画ダビングサービスを行う。

¹ ICT (Information and Communication Technology) 情報通信技術

(4). V-Campus のインフラ整備と運用

以下のシステムの運用・利用支援を行う。

- サーバ基盤
- ② セキュリティ対策システム
- ③ 認証システム
- ④ 学内ホスティングシステム
- ⑤ 学術認証フェデレーション

(5). 教育研究用システムの整備と運用

以下のシステムの運用・利用支援を行う。

- ① メール、ML、Webシステム
- ② 立教大学 Web サーバ (広報室 Web サイト)
- ③ 図書館システムサーバ (構築・運用、伴う機能改修)
- ④ ポータルサーバ
- (5) 授業支援システム(全授業対象)
- ⑥ 全カリ英語研究室: ALC ネットアカデミー2、スーパー英語 (REO)
- ⑦ 英語ディスカッションセンター:管理用サーバ等
- ⑧ 社会情報教育研究センター: RUDA、統計パッケージ用サーバ (SPSS)、 社会調査士証明書発行システムサーバ
- ⑨ 共生社会研究センター:管理用サーバ、検索用サーバ
- ⑩ 経営学部ポートフォリオサーバ
- ① 全学共通カリキュラム 英語副専攻システムサーバ
- ② 教員個人サーバ(教員3名)
- ③ 教育用仮想サーバ基盤の提供(教員1名)
- ⑭ 図書館・法務研究科院生室用オンデマンドプリンタサーバ
- 15 立教時間サーバ
- ⑥ 大学情報データベース
- ① モバイル環境の整備による、学内コミュニケーションツールの充実

(6). コンテンツの整備と運用

- ① 学内向けホームページを運用する。
- ② 「オンデマンド授業」システム(対象授業5科目)を運用する。
- ③ オープンアクセスを推進する。(iTunesUでの配信)
- ④ JMOOC 関連コンテンツを作成する。

(7). 更新関係

以下の導入・更新および有線・無線 LAN の設計工事を行う。

- ① 2018 春 池袋図書館 PC258 台
- ② 2018 春 演習室 PC448 台
- ③ 2018 春 教員貸出 PC130 台
- ④ 2018 春 共用 PC37 台
- ⑤ 2018 夏 教員貸出・ラーニングスペース PC MAC 端末 90 台
- ⑥ 2018 夏 PC 教室端末および AV 設備計 580 台
- ⑦ 2018 夏 教卓 PC220 台
- ⑧ REO、アルク 更新
- ⑨ Blackboard カスタマイズ機能改善
- ⑩ 学内ポータルサイト「SPRIT」への自動翻訳システム
- ① Office 365 ProPlus
- ② 無線 LAN カバレッジホール対策

(8). その他

- ① 各種ヘルプデスクシステムを活用しサービス改善に活かす。
- ② ITIL²運用をメディアセンターの他のシステム運用に拡張する。
- ③ 「私立大学情報教育協会」「大学 ICT 推進協議会」の連絡事務局を行う。
- ④ 「大学情報サミット」活動を行う。
- ⑤ 「社会情報教育研究センター」事務局業務を行う。

-

² ITIL(Information Technology Infrastructure Library) IT サービスマネジメントのプロセス、品質が組織に採用されているかを証明するもの。英国規格 BS15000。欧米では、政府の調達基準の1つ。システム 運用のアウトソースを図る際の品質の評価基準としても機能。